

平成 29(2017)年度 一橋大学大学院社会学研究科 地球社会研究専攻 博士後期課程 進学要項

地球社会研究専攻は、地球規模の諸課題に取り組む研究者や高度専門職業人をめざす皆さんに開かれた大学院です。本専攻の基本方針は次の三点です。

1. Issue Focused: 個別の学問領域を出発点とせず、現実の問題に焦点をあて、フィールドから思考を立ち上げ、世界を解く。
2. Solution Oriented: 問題の分析に留まらず、新しい次元の観点、思考、思想を提示し、問題の解決を志向する。
3. De-Eurocentric: 従来の西洋中心的思考を乗り越え、複数の中心が呼応する地球社会の新しい発想をめざす。

この基本方針のもとに、次の四点、1) Security (安全) 2) Sustainability (持続性) 3) Creativity (創造性) 4) Identity (アイデンティティ) を研究と教育の中心におき、地球社会と人々の生活の質の向上を追求します。

本専攻のカリキュラムは、文化、越境、平和、メディア、環境 の五つの重点領域を基盤に理論面から問題を追求する「基幹講義群」と、問題への実践的アプローチおよびメディア技術等を学ぶ「実践科目群」の二つがあります。さらに指導教員と少人数の受講生による演習（ゼミ）に加え、外国から招く第一線の客員教授陣、三菱総合研究所・日本国際問題研究所・国際交流基金・国際協力機構との連携協定を備えています。（詳しくは、地球社会研究専攻ウェブサイト <http://isgi.soc.hit-u.ac.jp/> をお訪ねください。）

1. 募集人員 6名

2. 出願資格

本学大学院社会学研究科修士課程または本学の他研究科の修士課程を修了した者および平成 29 年 3 月に修了見込みの者。本研究科総合社会科学専攻修士課程を修了した者および平成 29 年 3 月に修了見込みの者も出願できますが、総合社会科学専攻と併願することはできません。

3. 出願期間

平成 29 年 1 月 12 日（木） ～ 1 月 16 日（月）

受付時間は 10 時から 12 時、および 13 時から 15 時まで。

土曜日・日曜日・祝日は受け付けません。

4. 出願書類・検定料

(1) 本研究科修士課程を修了見込みで引き続き進学を希望する者

書類等	提出者	摘 要
写真票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入学志願票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
進学願	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士論文等	全員	修士論文 1 通（ハードカバーで製本したもの）およびそれを複写したものの 3 通（簡易製本したもの）。
修士論文等の要旨	全員	修士論文の日本語要旨（4,000 字程度）または英語要旨（1,600 単語程度）4 通。A4 判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。
研究計画書	全員	日本語または英語のもの 4 通。 日本語の場合は A4 判用紙（1 枚約 1,200 字）で 5 枚程度。英語の場合は A4 判用紙にダブルスペースで 2,400 語程度。なお、表紙には進学後に指導を希望する教員名を記してください。
在留カードの写し等	外国人志願者	1 通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。
受験票送付用封筒	郵送により出願する者	1 枚。長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に簡易書留相当分（392 円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名を明記してください。 <u>本人が直接持参して出願する場合は不要です。</u>

(2) 本研究科の修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者

書類等	提出者	摘要
写真票	全員	1通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入学志願票	全員	1通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
進学願	全員	1通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士論文等	全員	修士論文を複写したものの3通。ただし、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、修士論文に代わる論文1篇の複写3通。なお、修士論文等の内容と博士後期課程での研究題目が大きく異なる場合は、修士論文に加えて、日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます（この場合も、3通を提出してください）。
修士論文等の要旨	全員	修士論文あるいは修士論文に代わる論文の日本語要旨（4,000字程度）または英語要旨（1,600単語程度）4通。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨4通（日本語4,000字程度または英語1,600単語程度）も提出してください。A4判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。
研究計画書	全員	日本語または英語のもの4通。 日本語の場合はA4判用紙（1枚約1,200字）で5枚程度。英語の場合はA4判用紙にダブルスペースで2,400語程度。なお、表紙には進学後に指導を希望する教員名を記してください。
修士課程修了（見込）証明書	全員	1通。
成績証明書	全員	1通。
在留カードの写し等	外国人志願者	1通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者は、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用封筒	郵送により出願する者	1枚。長形3号封筒（23.5cm×12cm）に簡易書留相当分（392円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名を明記してください。 <u>本人が直接持参して出願する場合は不要です。</u>
検定料 30,000円	全員	原則として <u>出願期間内</u> に 三井住友銀行 国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：（普通預金）7761819 あてに検定料30,000円分を振り込み、 <u>その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。</u> なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する大学発行の証明書を提出してください。

5. 出願手続

志願者のうち本研究科修士課程修了見込みの者は、上記出願書類を一括し、**社会学研究科事務室に持参してください。**なお、本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者は持参もしくは下記宛てに郵送（書留郵便）で提出してください。

〒186 - 8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室

【持参の場合】

受付時間は10時から12時、および13時から15時まで。

● 本研究科修士課程から引き続き進学を希望する者

出願書類を社会学研究科事務室に提出し、受験票の交付を受けてください。

なお、やむを得ない事情で、ハードカバー製本された論文を提出できない場合に限り、論文を「仮提出」することを認めます。提出時に事情をうかがいます（なお、「やむを得ない事情」とは本人の病気や怪我、親族の死去、あるいは製本業者による納入の遅れといった予期せぬ事故、などを指します）。ただし仮提出する場合も、ソフトカバー製本等によって、論文の背の部分が確実に糊付けされて中身の差し替えが不可能な状態のものを、上記の提出期間・場所に本人が持参しなければなりません。ファイル・クリップ・紐綴じ等の形式は認めません。

仮提出した場合、ハードカバーで製本した論文を、あらためて1月18日（水）13:00から14:00の間に社会学研究科事務室に再提出してください。仮提出だけでは修士論文を正式に提出したとは認められません。また、再提出する論文の内容は仮提出した論文の内容と同一でなければなりません。

● 本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者

あらかじめ検定料を振り込み、その明細書等の写しを出願書類と一緒に社会学研究科事務室に提出してください。

【郵送の場合】

封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書き、出願期間（平成 29 年 1 月 12 日～1 月 16 日）内に必着するようにしてください。（なお、1 月 16 日（月）は 17 時必着です。）

出願期間を過ぎて着いたものについては、1 月 13 日（金）以前の消印があるものに限り受け付けます。また、外国からの出願を希望する場合は、この「5. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

6. 選考方法および選考基準

第 1 次試験では、提出論文および出願書類に基づき、受験者の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を審査します。受験者の研究課題を指導できる教員がいることも審査の基準です。第 1 次試験の合格者に対して第 2 次試験を行います。

第 2 次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは提出論文および出願書類にそって、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を面接時に行います。第 1 次試験と第 2 次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第 1 次試験（書類選考）

第 1 次試験合格者発表および第 2 次試験（口述試験）試験室・時間割の発表

日	時	発表方法
2 月 15 日（水）	13 時	大学内掲示場（法人本部棟南側）への掲示およびウェブサイトへの掲載（URL は出願者に通知します）

(2) 第 2 次試験（口述試験）

試験場 一橋大学（JR 中央線国立駅下車、南へ徒歩約 10 分）

日	時	試験科目
2 月 20 日（月）または 2 月 21 日（火） 9 時 30 分～18 時頃		提出論文および研究計画書に関する事項等について試験を行います。併せて、受験者の研究に必要な言語の試験を行います。（本研究科修了者・修了見込者は 1 人 50 分程度、他研究科修了者・修了見込者は 1 人 70 分程度）

※ 第 2 次試験の際には必ず受験票を持参してください。

7. 合格者発表

日	時	発表方法
3 月 1 日（水）	13 時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載（合格者には郵送にても通知します）

8. 注意事項

（問い合わせについて）

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。
- (2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、入学試験に関する照会は、住所、氏名を明記の上、書面または電子メールで行ってください。電話での問い合わせには応じられません。

（専攻について）

出願後の志望専攻の変更は認めません。また、地球社会研究専攻に所属する教員以外の教員を指導教員（第一演習担当教員）として選ぶことはできません（「地球社会研究専攻の科目について」参照）。

（提出書類について）

- (1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
- (2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「4. 出願書類・検定料」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

（身体に障害を有する入学志願者の事前相談について）

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出にしたがい、所要の措置を講じます。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

（プライバシー・ポリシー）

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

（入学料）

博士後期課程進学試験の合格者については、入学の際の入学料納入は不要です。

（国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）について）

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、平成 28 年 12 月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

社会学研究科 ウェブサイト <http://www.soc.hit-u.ac.jp/>

社会学研究科 電子メールアドレス info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/>

平成 29(2017)年度
一橋大学大学院社会学研究科
地球社会研究専攻の科目について

本学大学院社会学研究科地球社会研究専攻には、次の科目があります。

【基幹講義群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
文 化	地球社会文化論	* 足 羽 與志子
	文化の受容と編成	* 赤 嶺 淳
	価値生成論	非 常 勤 講 師
	文明と周辺社会	春 日 直 樹
	多文化社会の人間形成	* 太 田 美 幸
越 境	移動研究	* 福 富 満 久
	グローバル化と移動社会	* 多 田 治
	世界都市論	町 村 敬 志
	エスニシティ論	伊 藤 る り
	地球社会と地域政策	猪 飼 周 平
	グローバル化と教育	* 太 田 美 幸
平 和	平和の思想	* 足 羽 與志子
	戦争と社会	吉 田 裕
	トラウマと地球社会	* 宮 地 尚 子
	平和とジェンダー	佐 藤 文 香
	地球市民とジェンダー	非 常 勤 講 師
メ デ ィ ア	グローバル・メディア論	* 多 田 治
	文化表象論	非 常 勤 講 師
	オンライン・メディア論	* ジョナサン・ルイス
	メディアの研究方法	* ジョナサン・ルイス
環 境	地球社会と生命	* 宮 地 尚 子
	地球環境と地域社会	* 赤 嶺 淳
	発展途上国の諸問題	* 児玉谷 史 朗
	開発援助の諸問題	* 児玉谷 史 朗
	環境研究の自然科学的基礎	* 大 瀧 友里奈
	宇宙・地球・人間	* 大 坪 俊 通
地 球 社 会 研 究	地球社会研究Ⅰ	専 任 教 員
	地球社会研究Ⅱ	* 福 富 満 久
	地球社会の思想	加 藤 泰 史
	地球社会特論Ⅰ	客 員 教 員
	地球社会特論Ⅱ	客 員 教 員
	地球社会博士特論	専 任 教 員

【実践科目群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
連携大学院実践科目	環境をめぐる問題と実践	客 員 教 員
	文化交流の技法と実践	客 員 教 員
	国際協力の実務と方法	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅰ	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅱ	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅲ	客 員 教 員
	インターンシップⅠ	専 任 教 員
	インターンシップⅡ	専 任 教 員
リサーチ実践	リサーチ演習Ⅰ	専 任 教 員
	リサーチ演習Ⅱ	専 任 教 員
プロジェクト実践	プロジェクト演習Ⅰ	客 員 教 員
	プロジェクト演習Ⅱ	客 員 教 員
	プロジェクト演習Ⅲ	専 任 教 員

担当教員名欄の*印は第一演習担当教員